

**上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン素案
に対する意見整理表**

NO	ご意見の概要
1	<p>● 教育関連について 教育の分野での委員の依頼ですので、教育に関わることを一言記します。 大事な基本や基礎の学習が雑で、ともすると安易な理屈に走りがちな現代っ子世代の中で、当市の児童生徒の学力が向上しているとのことで、嬉しく、指導の先生方の努力に敬意を表しています。 趣味的な芸術文化の活動においても同様で、学ぶ人達と正しく指導出来る指導者が必要で、その為には、指導者個人の努力は当然のこと、加えて効率のよい美術館等や各種講習会、フォーラム等が人材の育成の資となります。 また、毎年開催の市民文化祭や各サークルの展示・発表会での市民の評価が指導力量の向上を促しています。 これらのことから、活動や開催に際し、行政側の物心による後援が必要なことを痛感しています。このことは、共生ビジョンにあたる各市町村にも共通の課題と思います。何卒ご理解の上、ご支援を願うものです。</p>
2	<p>● P35 防災について 研修や訓練も必要ですが、災害時に対応する為の医薬品・水・食料・燃料等の備蓄に関して、どのように考えているのか。</p> <p>● P25 障害者介護給付等審査会事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この中に特別支援を必要としている幼児・児童に対する支援の在り方 ・ 特別支援学校（養護学校）高等部に通学する交通手段が…。一市町村が行うには負担が多すぎるのでこの部分に関して広域で考えてみられたら。 <p>● P45 地域内外の住民との交流、移住促進 若者の交流の機会（カップリングパーティー）を広域で行うことにより、出会いの機会が増えるのではないか。</p> <p>● P34 販路拡大の部分について 特産品を使用した『第6次産業』化を取り入れてみては。</p>
3	<p>● 職員の人事交流事業は、積極的に行うべきである。 理由 1) 国の方針で、地方は地方で事業を考え予算付けをしなければならない時代がそこまで来ており、上十三地区各自治体職員が幅広い見識が望まれる。 2) 近隣市町村に出向することで、何かしら新しいヒントが見えてくる。</p> <p>● 東北新幹線七戸十和田駅利活用事業の促進をテーマに加えては。 理由 1) 新幹線駅を利用した上十三副都心計画を考えてみては 2) 人口の増加が考えられる。 3) 産業の活性化に繋がる。</p> <p>● 地域コミュニティのあり方について 少子高齢化に伴い、自治会の割合が益々重要になってきております。もっと広域で行える事業を考えたい。 (自治活動参加者が少ない、子どもの数が少なくなっている等々)</p>